阿知須町広報

阿知須町役場発行
山口県吉敷郡
阿知須町
発行人　鹿定好太郎
編集人　大浜　武明
印刷所
宇部市中区五度田通
宇部新聞印刷所
電話　宇部 1725番
阿知須 17番

災害復舊費など183萬圓

第一回歳入歳出豫算の追加更正

臨時町議會 8月

八月臨時町議会は、議人、議出追加更正予算では六月三十一日年前九時から臨時議会場で開催（河村藤熊、上野議長欠席）

❶阿知須町使用料徴収条例一部改正について

❷二八年度第一回才入、才出追加更正予算審定

について審議、何れも原案通り満場一致で可決し午後三時散会、議案内容は次の通り

九月一日から新たに次の使用料を徴収することに決定

動力噴霧器	一日	一〇〇円
手押　〃	〃	五〇円
〃　動力散粉器	粉剤一キロ	一〇円
自動三輪車	一キロ	二〇円
拡声器	一時間	一〇〇円

八月二十日現在で、人口は、男一万四千四百四十人、女一万四千五百二十人、世帯数三千六百二十戸、出生数一百人、死亡数一百人、転入一百人、転出一百人、婚姻一百人、離婚一百人、出生率一千人に対して一人、死亡率一千人に対して一人、婚姻率一千人に対して一人、離婚率一千人に対して一人、人口増加率一千人に対して一人、人口減少率一千人に対して一人、人口増加率一千人に対して一人、人口減少率一千人に対して一人、人口増加率一千人に対して一人、人口減少

としよりは人として尊ばれ親しまれるべきであります。若人もまた社会を構成する大切な要素であって、としよりには、としよりの働きと価値と有形無形の功績があります。と同時に若人自身もまたこれを自覚しその権利と義務とを放棄せず若い人とも大いに力を合せ国のため町のために奮仕しなければなりません。

年中行事九月十五日の「としよりの日」迄に十五日からの一週間「としよりの福祉週間」は新時代における長老敬愛の念を家族的でなく広く社会的に盛り強調する雰囲気で設けられたものであります。町ならびに町教委では週間行事として十三日（祖々の都合により繰上げ）午前十時から井小、阿小両校に七十才以上の高齢者約四百名を招き婦人会、青年団、学生会後援のもとに児童、生徒の作文朗読をはじめ盛沢山にくりひろげられる会興や会食などの慰労会を催すので、おとしより（案内者）会員御来場をのぞんでいる。

おじいちゃん・おばあちゃんお揃いでどうぞ……

九月十三日阿小井小両校で『としより會』

ジフテリヤ予防注射

町ではジフテリヤ予防接種を次の日程により実施するので該当者はもれなく受注されるようのぞんでいる。

とき	対象者	ところ
九月十五日	初回免疫者 第一回目	町公民館
〃十六日一日	初回第二回目 六年、来入学者	阿小校
〃二日	右と同じ	井小校
十月二日	初回第三回目	町公民館
〃二日	右と同じ（時間は何れも午後一時半―三時半を厳守のこと）	井小校

◎注射しなければならない人

△初回免疫者

生後六カ月より十二カ月まで（但し生後未だ一回もジフテリヤ注射を受けてないものは年令に制限はない。）

△追加免疫者

○来春小学校に入学する児童

○小学校六年生

◎料金

初回二十円、追加十円

味覚の秋デス

料理講習会大盛況だった

……サテ次は味つけを終えたヒキ肉をこの玉葱の中に詰め込んで油でケラします。一歩室内に足を踏み込むと急に食欲を起すような臭いがプーンと鼻を刺しました。会場には……明るい家庭の根源をなす料理はさすが我々の生活に根も切実なものだけに主婦や娘さん達の姿は真剣そのものであり、受講者は予想外に多く中学校位の会場に収容しきれないという阿知須町はじまって以来の大盛況ぶり。やがてアナタの家庭、奥さん方の台所には講習で修得した奥さんの腕じまん料理の数々が楽しい夕餉の食膳を賑すことだろう。

百数十名に及ぶ講習生がキリシリと詰めかゆ、暑さも忘れて習い熱とり組んでいるもの、屋丁で仁しげに刻むもの、先生の手さばきをジッと見入っているものなど今や料理講習会の真最中。今日は夏季講座最後の課目〝栄養料理の献立〟の日である。〝安くて、おいしい栄養に富んだものを……〟分は積極的に少々難問の感がありましたので第二回分としては難にも出来るやさしい問題を次の通り出題しますから答えて御応募下さい。ハガキに解答、住所、氏名を明記の上社会係まで、締切は九月二十五日、正解十名様に記念タオル進呈。

❶本町三役（町長、助役、収入役）の各氏名は？

❷阿知須神平拓殖一期計画を了えた汐どめ工事分は何の日と何程？

❸町広報紙の題名は？

❹町広報紙の発行は次の通り

❺町広報紙の定数は二千二名

❻町会議員の定数は二十二名

❼町会議員の任期は四カ年です。

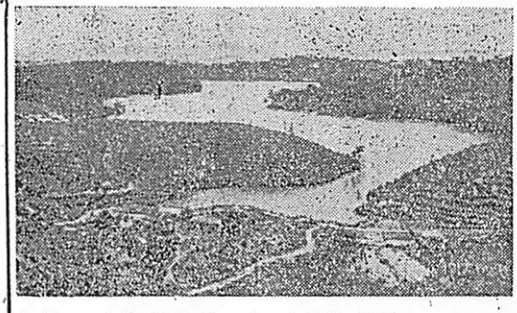
❽今年の当初予算額は三、九九二万八、四七二円

❾町民税、固定資産税、自転車税、荷車税、瓦斯税の五種類です。

❿町民の被害は甚大である。まかり逃えば命を取られるこの害虫撲滅に人を頼りとも出来ない。私は病床にあっても立ってもおられぬ程焦燥した。そして私はすっかり諦めてしまった。

ところが一方、防除班長を始め友達や部落の人達は折角計画している害虫撲滅あるからみんなでやって

町政クイズ



美しき隣人愛

「心地よや隣りの窓の解ける音」とは昔より隣人同志の皮肉で冷淡な心理を如実に表現した句である。また「落ちふれて袖に涙のかかるとき人の心の身ぞ知らるる」という昔からの歌は私の現代生活中からヒシヒシと身に体験したところであった。だが反面尊くもまたうれしい人の情を身に受けてほのぼのとあたたかい心持になったことも数限りなく体験した。戦後道路全く地に堕ちたとはいえ奥ゆかしい隣人愛の心は

町民の叫び

隣人愛のたまものとしてもの心の温まる思いがするものである。私は去る八月初旬頃のため三日間もだえ苦しんだ俳句をそれから四日間病臥した。丁度その間二化メイ虫防除の為ポリドールを部落一斉に撒布することになっていたのである。初めてポリドールを取扱うことではあるし、しかも危険なる劇薬であるこの農薬の使用を躊躇が一時遅疑逡巡した。しかし目撃したメイ虫の被害が増してくるにつれつつとしておられなくなり遂に意を決してこれが防除の為に寄々相談して共同撒布することになったのである。だが当日私は助けず婦人だけ、誰も家から出て行けない、メイ虫の被害は甚大である。まかり逃えば命を取られるこの害虫撲滅に人を頼りとも出来ない。私は病床にあっても立っても居られぬ程焦燥した。そして私はすっかり諦めてしまった。

ところが一方、防除班長を始め友達や部落の人達は折角計画している害虫撲滅あるからみんなでやって

選手大半が県体出場

榎獲得

阿連斉郡体で堂々優勝

吉敷郡青年団体育大会は八月三十日小郡町で挙行されたが阿知須町選手団は陸上競技、卓球排球、剣道、相撲など約五十名の選手が出場、各種目とも好記録を続出し選手の大半三十名が九月一日江汐地区で挙行された阿連斉郡体育大会へ吉敷郡代表として出場し陸上競技、卓球、剣道、相撲の四種目に参加した。

陸上競技＝八〇米福増繁昭九秒八、百米福増一二秒二、假かつぎ福永吉一七秒一、走高跳西村通郎一米六五、女子六〇米秋本佳子九秒一、百五十米福本智子二四秒一、走幅跳福増キクエ一米一八、走巾跳秋本佳子三米四七、砲丸投石丸正子八米四一、男子八百リレー（假金、田村、西村、福増）一分四七秒五、女子四百リレー（假本、田中、細田、秋本）一分二秒【剣道】個人勝負のみ

三段大浜昭二（金勝）

【卓球】第二位

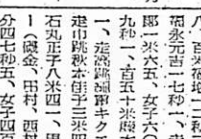
【排球】第二位

【相撲】第二位

六日県剣道の県体育大会へ吉敷郡代表選手として出場権を獲得。総合点の結果百八十点は第二位東岐波に八点をはるか引き離し堂々優勝した。当日各種目にわたって一位を獲得したもののみの成績は次の通り。

一際上競技＝八〇米福増繁昭九秒八、百米福増一二秒二、假かつぎ福永吉一七秒一、走高跳西村通郎一米六五、女子六〇米秋本佳子九秒一、百五十米福本智子二四秒一、走幅跳福増キクエ一米一八、走巾跳秋本佳子三米四七、砲丸投石丸正子八米四一、男子八百リレー（假金、田村、西村、福増）一分四七秒五、女子四百リレー（假本、田中、細田、秋本）一分二秒

伸びゆく郷土



江畑観光コースを西岡へ一キロ足をのばせば、そこには金長七キロに及ぶ円周、潤間紺碧の万年池に達する。これぞ本町最大の灌漑用水池であり五百町歩の耕作を賄う生命線である。

新緑の五月からススキの秋にかけてこの附近一帯の山は最もすばらしく澄みきった青空の下で、賑く「ニギリめし」の味はまた格別の趣がある。またこの池の東北部つまり中之島附近の湖畔に毎日の午後から出向きテントを張り魚釣や飯盒炊飯に興じ、夜はキャンプファイヤーを囲んで楽しい裏の一夜を過ごすのも若い人達にとって最も健康的なレクリエーションであろう。

学園だより

☆かねて募集中であった阿知須学園洋裁速成科第二期生は三十一日〆切ったが入学希望者は十九名に達し九月一日予定通り入学式を挙行。同時に各科とも二学期の授業を開始した。

☆阿小校西村シゲ子教官は同校広永寮奥子教諭の産休代替として勤務していたが、このたび広永教諭が引続き産休となったので町教委では九月一日付で西村教官の勤続を発令した。

☆井関小学校河野久美子教諭の産休代替として町教委では九月四日付で伊関つた子先生の就任を発令。同教官の勤務は県立防府女高を経て昨年三月山口女子短大家政科を卒業後鳥田小学校使用員として七カ月勤務、山口市嘉川小校に転任。

☆町小、中学校本年秋の大運動会は次の日程で行われる。九月二十七日午前中、十月三日井小校、四日阿小校

國体出場に六君確實？

西村（走高跳）福永（假かつぎ）女子排球など優勝

六日山口市民グラウンドを中心に展開された青年団山口県体に吉敷郡代表として出場した本町青年団アタックは物凄く熱形を放った。なお当日の成績優秀者は九月二十七日より三日間亘って東京で開催される国体競技会（本県代表選手として出場するが、福永（假かつぎ）福増（百米）江村、中野、石川、水本（排球）各選手の国体への推せんは既定順序とみられる。走高跳の優勝者西村君は昨年も県代表で国体に出場しているので二年連続出場は許されないらしいことは残念な次第であるが、本町から十一名八七名に達しまた第一位、田辺正一君が第二位を獲得、百米での福増繁昭君はタイム十一秒八で惜しくも第二位（一位は十一秒七）、つづいて女子排球は阿知須はじまって以来の出来事で町民挙げての喜びであり、スポーツ阿知須〝として会内外名実ともに恵まれた年であった。

県体成績

郡中をはじめ九校参加のもと同校グラウンドで開催された郡陸上競技大会は八月二十七日、百米福増繁昭君が一米七五、假かつぎ福永元吉君が一米七五を跳んで第一位となったのをはじめ、優勝者の活躍は目覚ましく場所がせまい為に一週間前挙行された郡代表として出場した本町青年団員は郡内の成績よりも一層上昇の好記録をおさめた。陸上競技（トラックフィールド）ではハイジャンプの西村通郎君が一米七五を跳んで第一位となったのをはじめ、優勝者の活躍は目覚ましく場所がせまい為に一週間前挙行された